メルセントリー群管理システム

高部克則*
藤原誠司*

要　旨

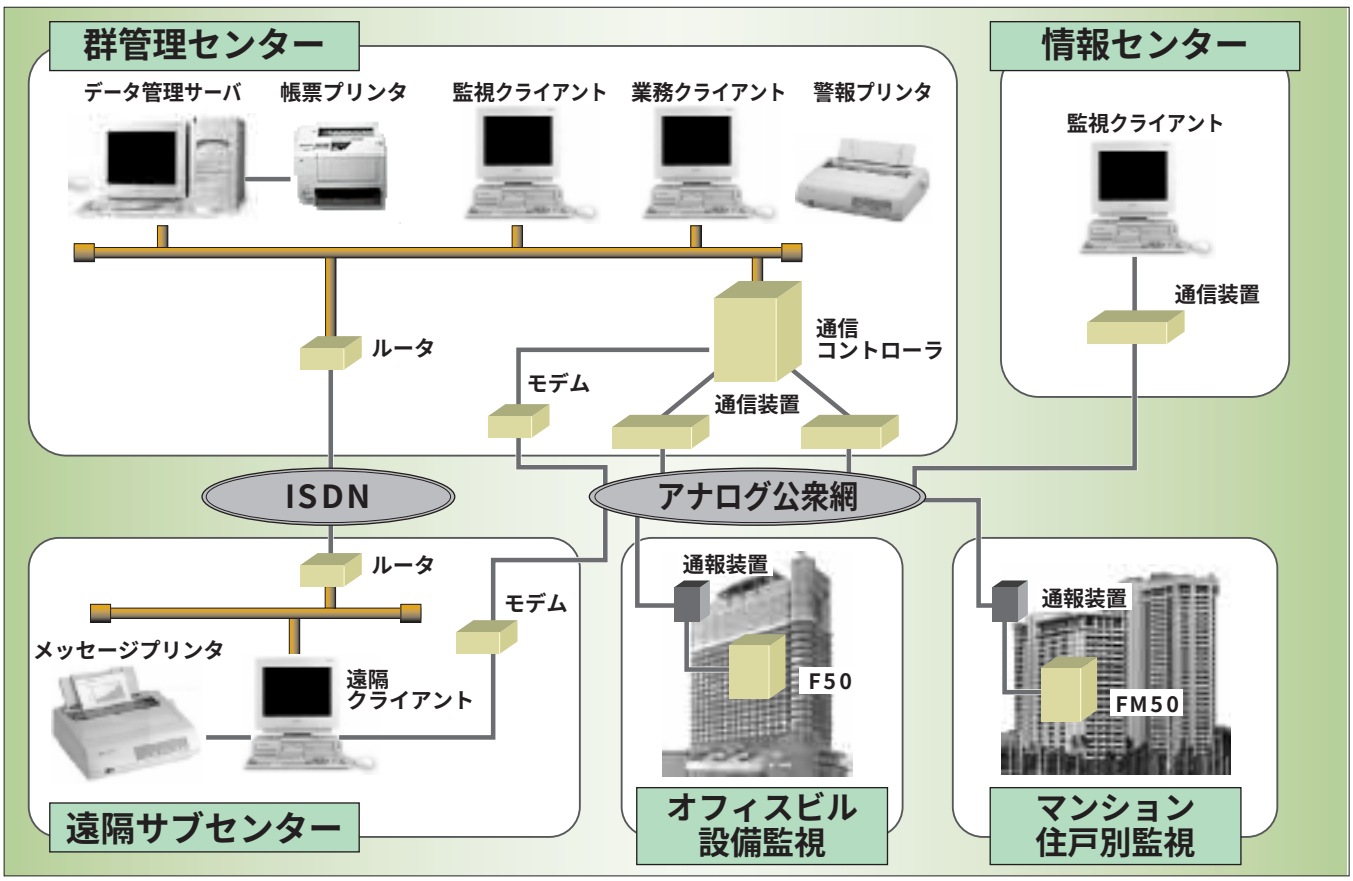
三菱電機では，中小規模ビルの運営管理を支援するシステムとして“メルセントリー群管理システム”を開発し，好評を得ている。群管理システムは，点在するビルやマンションの設備異常や防災信号を公衆網を利用して遠隔集中管理するシステムである。ビルやマンションに設置される端末装置には，“メルセントリーＦタイプ”やビル管理とビルセキュリティの統合システム“メルユニティ”等がある。

今回，マンション個別住戸の監視機能，遠隔サブセンター機能の追加と管理規模の拡大（約10万設備：50設備／棟で約2,000棟管理可能）を行い，更に柔軟にビル管理運用ニーズに対応できるようになった。

マンションの個別住戸監視とは，住戸信号（火災，ガス漏れ等）を集約管理する管理装置とのインタフェースを持ち，防災信号や防犯信号を住戸個々に監視する機能であり，より詳細な監視サービスが可能となる。

遠隔サブセンター機能とは，実際に警報が発生した場合に，発生の確認や処置を行う部門に対して警報の認知や処置内容の入力等の管理業務を支援するための機能であり，アナログ公衆網とISDNを利用して操作が簡単で信頼性の高いシステムを実現した。

今後，ビル管理会社や警備会社等のニーズをとらえ，更に機能拡充していく。



メルセントリー群管理システムの構成

アナログ公衆網とＩＳＤＮを利用し、点在するビルやマンションを集中管理する。管理の形態に合わせて遠隔サブセンターを設置することができる。また，夜間休日にセンターが無人化する場合には，三菱電機ビルテクノサービス(株)の情報センターをバックアップとして利用することもできる。

*稲沢製作所